

情報教育における「親分」「子分」の関係

1・2年生国語科 電子かみしばいの活用を通して



丹波市立西小学校 教諭 細見隆昭

JNK4春の合宿 2005.3.26 京都市立藤城小学校

課題解決イブニングセッション C学校をどう変えるか・教員を変えるか

学校の情報化を進める「親分」「子分」とは

□ 親分…ベテラン女性教諭

校内研修担当
発言力あり
まわりをまきこむ

ITを使った
授業作りを
進めます！



□ 子分…若手情報担当

提案を書く
機器の準備
発言力なし

親分を
サポート
します！



西小学校 これまでのとりくみ

- 6年間の見通しをもって、教師がねらいや願いを共有しながら3年間**情報教育**にとりくんできた。
- 国語と算数で、確かな学力を身につかせる、**ITを活用した「わかる授業作り」**をめざした。



1年生国語「のりもののことをしらべよう」 親分のねがい **最後まで意欲を持って** **「乗物図鑑」作りをさせたい！**

ね
ら
い

- 興味を持った乗り物について本や図鑑などで**進んで調べよう**とする。(関心)
- 調べたことを分かりやすく**文章にまとめる**。(書く)
- いろいろな**船の役目**やそのための工夫に気をつけて読む。(読む)



親分の電子紙芝居を見る



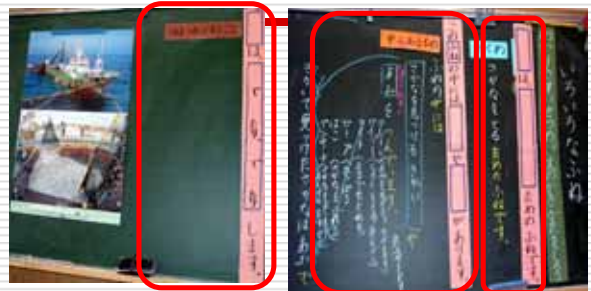
ハイパーキューブねっとJr.2電子かみしばい

こんな方法があるんだ！
私たちがやってみよう！



活動に意欲を持つ

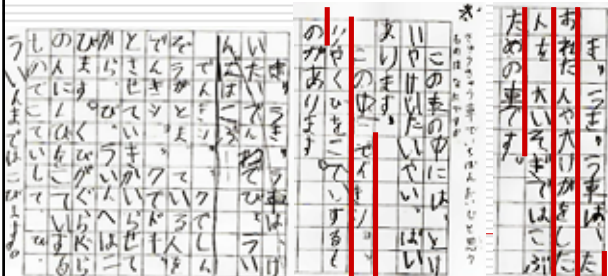
3つの文型を理解させる



それを使ってすること 中にあるもの やくめ

救急車を例に3つの文型を書く

3 それをつかってすること 2 中にあるもの 1 やくめ

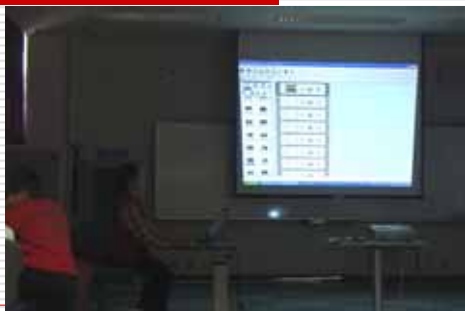


低学年におけるIT活用のポイント

- 音楽やアニメーションが聞き手の興味をひきつけるので効果的
- 表紙と画像の2ページにしばり、児童がする作業を限定
- 新学習システム教員や情報担当、ときには指導主事までもまきこみ、複数体制で指導



親分の電子かみしばい作成のようす



電子紙芝居を使った発表会



堀博文指導主事に書いたお礼の手紙



2年生国語説明文 「タイの小学生マナの暮らし」

- 教科書の「文型」をしっかりとおさえ、自分の紹介を書く。
- 自分の暮らしを紹介する写真を撮影し、電子かみしばいにまとめ、伝える活動をする。



東京書籍

親分のまねをした文型を意識した作文指導

- 教科書の文型をおさえ、自分のことを作文
- 穴埋めワークシートで、どの子もしっかりと作文



電子かみしばいで自分のことを伝える



親分につられてIT活用するようになった教師



6年生理科

デジタルコンテンツで干渉を説明



算数

OHCで大きく提示

まとめ 親分が動くと学校が変わる

- 親分が授業しやすいように情報を提供することや、機器の準備をすることで、親分に気持ちよく授業をしてもらう
- 親分はこれまでの経験があるので、確かな学力をつけさせる方法を知っている。それにIT活用をプラスするとさらにいい授業になる
- 子分は親分と一緒に授業にかかわることで、親分のテクニックを盗む
- 親分が動くと他の職員も動きはじめる

課題

- 子分の仕事が増えるので大変
- 親分の勢いに反発する職員もいるので、普段のよい人間関係の構築が必要



IT活用した「わかる・楽しい授業づくり」を一度体験すると児童も教師も楽しくなり、また活用しようと思うようになる